

全国に挑む選手応援

光星高に懸垂幕設置

八学光星高（中村良寛校長）は8日、全国大会への出場を予定する男子陸上部、男子バスケットボール部、女子サッカー

部の活躍を願う懸垂幕を、八戸市の校舎に設置した。

男子陸上部は、21日に京都市で行われる第76回



懸垂幕を前に、それぞれの活躍を誓う生徒たち
＝8日、八学光星高

全国高校駅伝大会に10年ぶり2度目の出場。男子バスケットボール部は第78回全国高校選手権（ウィンターカップ、23～29日・東京都）に5年連続8度目、女子サッカー部は第34回全国高校選手権（29日～1月11日・兵庫県）に2年連続2度目

の出場をそれぞれ決めた。

懸垂幕は縦10メートル、横0・7メートルで、それぞれの全国大会出場を祝福。8日はそれぞれの選手たちが掲揚に参加し、設置が終わると全員で拍手し、健闘を誓い合った。

男子陸上部の河合陽向主将は「2時間6分台を目標に、チーム一丸となって頑張りたい」と決意。男子バスケット部の中村虎太郎主将は「自分たちの武器でもある、ディフェンスからの速攻でチャンスをつかむ」、女子サッカーの吹上幹主将は「持ち味のバスサッカーで、16強入りを目指していく」と闘志を燃やした。

（小嶋嘉文）